

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年10月11日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）
【会社名】	カネコ種苗株式会社
【英訳名】	KANEKO SEEDS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金子 昌彦
【本店の所在の場所】	群馬県前橋市古市町一丁目50番地12
【電話番号】	027(251)1619
【事務連絡者氏名】	専務取締役財務部長 長谷 浩克
【最寄りの連絡場所】	群馬県前橋市古市町一丁目50番地12
【電話番号】	027(251)1619
【事務連絡者氏名】	専務取締役財務部長 長谷 浩克
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期連結 累計期間	第67期 第1四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日	自平成24年6月1日 至平成25年5月31日
売上高(千円)	13,368,932	13,484,157	54,006,876
経常利益(千円)	227,033	426,193	1,481,474
四半期(当期)純利益(千円)	106,995	257,545	886,453
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	139,983	258,189	1,080,691
純資産額(千円)	12,309,499	13,266,769	13,149,523
総資産額(千円)	33,829,478	35,532,915	38,483,460
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	9.11	21.92	75.45
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.4	37.3	34.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然燻ぶる欧州の政府債務危機問題や新興国の成長鈍化の影響が懸念されるものの、震災復興需要や政府の経済対策などの効果もあり、景気回復期待が広がっております。

また、国内農業の状況は、一部には新たな担い手が注目される面があるものの、農家の高齢化や慢性的な後継者不足に改善はみられず、厳しい状況は相変わらずであります。

こうしたなか当社グループの業績は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県のイチゴ産地の復興に、当社の養液栽培プラントが採用されたことや、タマネギやキャベツ等の野菜種子の売上が増加したことなどから、売上高134億84百万円で前年同四半期比1億15百万円（0.9%）の微増収となり、利益面でも営業利益3億93百万円で前年同四半期比1億81百万円（85.4%）増、経常利益4億26百万円で前年同四半期比1億99百万円（87.7%）増、四半期純利益2億57百万円で前年同四半期比1億50百万円（140.7%）増と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、前期に発生した永年牧草地の更新需要が一巡したことによる牧草種子の売上減少があったものの、タマネギ種子が輸出及び国内販売で、また、キャベツ種子の輸出が伸長したことなどから、売上高17億75百万円で前年同四半期比4.3%の増収となりました。

花き事業

花き事業においては、緑のカーテン需要の減退などの要因から、家庭園芸資材の販売が不振だったことにより、売上高18億60百万円で前年同四半期比6.8%の減収となりました。

農材事業

農材事業は、売上高60億60百万円で前年同四半期比9.3%の減収となりました。ただし、連結子会社であった株式会社ベルデ九州を吸収合併したことに伴い、未連結であった同社の平成24年4月～5月の業績数字を連結したことに伴い、前期の売上高が嵩上げされたことを勘案すると、当第1四半期は実質微増収であります。これは、害虫の発生が増加したことによる殺虫剤の販売増や、機動的な営業活動によりシェアアップに努めたことなどに因ります。

施設材事業

施設材事業は、震災復興事業に当社の養液栽培プラントが採用されたことに伴う完工売上高の大幅増などにより、売上高37億33百万円で前年同四半期比29.5%の増収となりました。

造園事業

売上高53百万円で前年同四半期比47.3%の減収となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、142,789千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,772,626	11,772,626	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,772,626	11,772,626	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	11,772,626	-	1,491,267	-	1,751,682

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,708,000	117,080	-
単元未満株式	普通株式 40,226	-	-
発行済株式総数	11,772,626	-	-
総株主の議決権	-	117,080	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
カネコ種苗株式会社	群馬県前橋市古市町 1-50-12	24,400	-	24,400	0.21
計	-	24,400	-	24,400	0.21

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は24,300株、その発行済株式総数に対する割合は0.21%であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,137,657	1,810,997
受取手形及び売掛金	21,320,711	19,171,495
商品	5,806,893	5,013,526
その他	1,515,280	1,820,037
貸倒引当金	75,116	67,118
流動資産合計	30,705,425	27,748,938
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,144,432	4,175,004
その他(純額)	1,765,035	1,748,086
有形固定資産合計	5,909,468	5,923,090
無形固定資産		
	91,333	85,697
投資その他の資産		
その他	1,843,218	1,842,237
貸倒引当金	65,986	67,049
投資その他の資産合計	1,777,231	1,775,188
固定資産合計	7,778,034	7,783,976
資産合計	38,483,460	35,532,915
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,601,163	14,812,375
短期借入金	1,935,000	5,085,000
未払法人税等	334,891	177,078
その他	1,070,887	794,817
流動負債合計	23,941,942	20,869,271
固定負債		
退職給付引当金	1,081,219	1,085,409
役員退職慰労引当金	215,380	218,980
その他	95,393	92,485
固定負債合計	1,391,993	1,396,874
負債合計	25,333,936	22,266,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,206	1,765,221
利益剰余金	9,693,935	9,810,502
自己株式	14,462	14,441
株主資本合計	12,935,946	13,052,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,577	214,221
その他の包括利益累計額合計	213,577	214,221
純資産合計	13,149,523	13,266,769
負債純資産合計	38,483,460	35,532,915

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	13,368,932	13,484,157
売上原価	11,390,775	11,408,737
売上総利益	1,978,157	2,075,419
販売費及び一般管理費	1,765,657	1,681,434
営業利益	212,499	393,984
営業外収益		
受取配当金	10,229	11,194
受取家賃	14,966	15,472
その他	2,897	14,631
営業外収益合計	28,094	41,299
営業外費用		
支払利息	11,740	8,701
為替差損	1,324	-
その他	495	389
営業外費用合計	13,560	9,090
経常利益	227,033	426,193
特別損失		
投資有価証券売却損	1,377	-
固定資産処分損	801	47
特別損失合計	2,178	47
税金等調整前四半期純利益	224,854	426,145
法人税等	117,858	168,600
四半期純利益	106,995	257,545

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
四半期純利益	106,995	257,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,987	643
その他の包括利益合計	32,987	643
四半期包括利益	139,983	258,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,983	258,189

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

第1四半期連結会計期間末日満期手形

第1四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の第1四半期連結会計期間末日満期手形が第1四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	千円	1,704,675 千円
支払手形		692,069

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
減価償却費	53,447千円	46,530千円
のれんの償却額	5,338	5,338

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月30日 定時株主総会	普通株式	140,984千円	12円	平成24年5月31日	平成24年8月31日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月29日 定時株主総会	普通株式	140,978千円	12円	平成25年5月31日	平成25年8月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,702,293	1,997,112	6,685,531	2,882,304	101,692	13,368,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,251	-	147	1,650	-	8,048
計	1,708,544	1,997,112	6,685,678	2,883,954	101,692	13,376,980
セグメント利益又は損失()	252,955	30,700	134,438	58,826	55	415,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	415,574
全社費用(注)	203,075
四半期連結損益計算書の営業利益	212,499

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,775,597	1,860,694	6,060,707	3,733,575	53,584	13,484,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,460	-	271	853	-	6,584
計	1,781,057	1,860,694	6,060,978	3,734,428	53,584	13,490,741
セグメント利益又は損失()	285,827	38,420	105,504	237,224	5,485	584,650

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	584,650
全社費用(注)	190,666
四半期連結損益計算書の営業利益	393,984

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	9円11銭	21円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	106,995	257,545
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	106,995	257,545
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,748	11,748

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

カネコ種苗株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 栗原 学 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 今西 恭子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているカネコ種苗株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、カネコ種苗株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。